

東京湾ぐるり一周 御船印の旅

共有船舶建造支援部 建造促進課

「御船印」をご存じの方拳手をお願いします。
(と言っても残念ながら、ほとんどの方から手を挙げていただけないと思います)
「御船印」を皆さんに知っていただくため、また船に乗ることの楽しさを知っていただくため、今回は、東京湾をぐるり一周し「御船印」を集める旅に出かけてみました。



東京湾フェリー「かなや丸」(鉄道・運輸機構との元共有船) 久里浜港にて



御船印用の御船印帳。
御船印は、印帳に直接書くのではなく、印字されたものをいただき(購入)貼り付けるタイプとなっている。御船印帳にもさまざまな種類があります。各乗船券売り場もしくは船内で購入可能

御船印 旅ルートマップ



神社仏閣でいただく御朱印は古くから存在するためご存じの方も多く、また、収集を趣味としている方もいると思いますが、令和の時代(令和3年4月開始)になり、御朱印の船版「御船印」が登場しました。これは、一般社団法人日本旅客船協会の公認プロジェクトであり、このプロジェクトに参加している船会社の船舶に乗船することにより、御船印をいただく(300~500円で購入)ことができます。

(※御船印は登録商標)

御船印旅の始まりは横浜から

9月のある平日、御船印を集め



船上デッキ。カモメの飛来が見られます



車でフェリー乗船口



オリジナル商品の購入も可能



かなや丸 御船印

充実した船内売店、グッズもいろいろ

ここで御船印のご紹介。御船印は原則、乗船することによりいただくことができます。「かなや丸」船内

9時11分久里浜港に到着。慌たしく9時25分発の「かなや丸」に乗船。

東京湾フェリー

御船印をいただくその①

る旅は横浜駅からスタート。横浜駅は、日本のサグラダファミリアと呼ばれるほど、長年、駅周辺の工事が行われておりましたが、最近はおしゃれな駅ビルも完成し、すっかり綺麗になっています。

8時9分発京浜急行に乗車し京急

久里浜駅で下車、路線バスに乗り換え、「東京湾フェリー」を目指します。

売店にて御船印帳を購入し、御船印をゲットしました。「かなや丸」の船内は広々とした空間となっており、ソファでくつろぐ方、船外で景色を楽しむ方などいろいろです。

船外では、カモメが本船を追いかけて何度も飛来する姿が見られ、船とカモメの徒競走ならぬ飛競争のような楽しい光景が見られます。また、本船の近くを大型船が航行した際には、船舶のトン数、船種（どんな貨物を運ぶ船か）の紹介があつたのは、良い案内だなと感じました。約40分間の船旅であつという間に金谷港到着。

●スポット紹介 金谷港周辺

金谷港を下船すると、すぐそばには、レストラン＆マーケットプレイス「The Fish」があり、スイーツの専門店も入っています。

少し歩けば、某テレビ局の孤独に食するドラマ内でも紹介された、アジフライで有名な「はまべ」さんや、週末は行列が絶えない「さすけ食堂」さんがあり、金谷港周辺でお腹を十分に満たすことができます。

（次の乗船場所の両国までは、JRで向かいます）

バームクーヘンの生地が練り込まれたアイスクリームと濃厚なプリン



房総名物「びわ」関連商品



金谷港「The Fish」売店

乗船動画はこちら！
(東京湾フェリー編)



●スポーツ紹介
両国は相撲と歴史のまち

電車にゆられて約2時間、13時23分JR両国駅に到着。大相撲9月場所開催中ということもあり、両国駅構内で力士とすれ違う。改札口を出たら、さらに力士がちらほら見られ、思わず自分の体格と比べてしまします。

両国には、徳川四代將軍家綱が開創し、鼠小僧のお墓があることで知られる回向院があります。相撲や歴史に触れることができる街です。



両国国技館全景



回向院にある、鼠小僧の墓。墓の前にある石（お前立ち）を削ったかけらを持っていると金運アップなど御利益があると言われています



大相撲令和3年9月場所。両国国技館の通用口付近では、力士とファンが気さくに話している様子が見られました（ソーシャルディスタンスはキープ）

御船印をいただくその② 東京水辺ライン

13時55分両国リバーセンター発の東京水辺ラインに乗船し、隅田川をクルーズ。隅田川のクルーズ船を運航している会社は他にもありますが、東京水辺ラインの船舶の最大の特徴は船上に出られるオープンエアデッキなどところどころです。隅田川のさまざまな橋をくぐりますが、橋の下すれすれをくぐり抜けるため、橋の迫力を間近で感じることができます（橋の下までは、船上からジャンプすれば届きそうな距離ですが、危ないので禁止）。本船は、浜離宮脇の水門をくぐり、ウオーターズ竹芝に入港、14時50分着。

ウオーターズ竹芝は令和2年に



浜離宮前水門の水門をくぐる。水門の迫力が感じられます



築地と豊洲を結ぶ「かちどき橋」を望む



「永代橋」。古くは歌川広重の木版画にも登場している



オープンエアデッキが魅力

御船印をいただくその③ シンフォニークルーズ

オープンした新たなスポットで、劇団四季の劇場ほか、さまざまな施設が入る複合ビルとなっています。ここから次の乗船場所となる日の出桟橋までは徒歩で移動。

16時20分発の東京港を周遊する

「シンフォニー」に乗船することができます。同社は四つのシーンのクルーズがありますが、この時間帯は、サンセットクルーズで、レインボーブリッジ、東京ゲートブリッジという二つの橋を通過し、夕日に染まる東京の幻想的な風景を見ることができ

ます。
（お詫び…令和3年9月の緊急事態宣言中は平日の運航を行っていないため、今回は残念ながら乗船しておりません。ここでは紹介とさせていただきます）



シンフォニーモデルナ（手前）とシンフォニークラシカ（奥）



夕日をバックに羽田空港を望む



シンフォニー 御船印

乗船動画は
こちら！
（東京水辺ライン編）





特集 乗船レポート 東京湾ぐるり一周 御船印の旅



出航前のさるびあ丸



鉄道・運輸機構との現共有船「さるびあ丸」

乗船動画は
こちら！
(東海汽船編)



さるびあ丸 御船印

東海汽船 御船印をいただくその④

22時00分竹芝桟橋発の「さるびあ丸」に乗船。昨年竣工したばかりの新生さるびあ丸は、スーパージョシップ（電気推進船）で、他船に比べ静かな船内となっており、約12時間かけて伊豆諸島の神津島まで航海する大型旅客船です。乗船客の多くが大きなリュックを背負い、またはキャリアケースを転がしながら乗り込みます。島へ旅行する人、島へ帰る人、いろいろな想いを乗せて出港します。

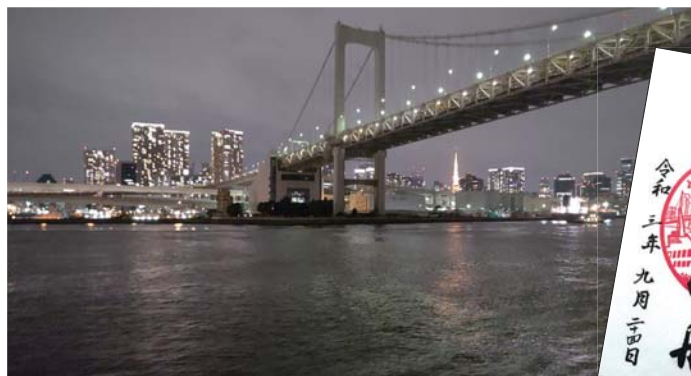
等東京を代表する夜景スポットを一望できます。心地よい船旅も気が付けば、2度目の大きな橋、横浜ベイブリッジを通過。船旅はこれから！という雰囲気ですが、今回の船旅ルートは、東京湾ぐるり一周のため、伊豆諸島の島々へは向かわずに、横浜大桟橋にて下船。

横浜に戻って御船印旅は終了

横浜大桟橋で、東京湾ぐるり一周御船印の旅は無事終了。なかなかの強行スケジュールでしたが、船に乗ることを満喫できた一日となりました。次回は、別の船旅ルートにて御船印集めに出かけてみたいと思います。



横浜ベイブリッジと遠くにランドマークタワー



レインボーブリッジと遠くに東京タワー



東海汽船 御船印

東京湾ぐるり一周 御船印の旅 旅のしおり



御船印めぐりプロジェクト事務局では、定められた船会社数の御船印を集めることにより認定される「御船印マスター」制度があります。皆様、オリジナルの御船印ルートをめぐり、ぜひ御船印マスターを目指してください。
全国で 56 社の船会社が参加 (令和3年9月末現在)



【御船印 ウェブサイト】